## 園芸便り

### 12月の園芸センターだより

師走に入り朝夕の冷え込みも一段と厳しくなっています。今冬の積雪が気にかかるところですが、二年続きの大雪にこりてがっちり冬囲いをされたお宅も多いのではないでしょうか。冬囲いは雪折れ防止の効果だけでなく、殺風景な庭に飾りを添える意味もありますので、ぜひ取り入れて下さい。

さて、センター始まって以来の見事な紅葉をみせてくれた樹木も一荒れごとに葉を落とし、すっかり冬景色に変わってしまいました。枝に残った実はこれから小鳥たちの格好のエサになります。戸外の無彩色に相反して温室内の鉢花はこれから一段と色鮮やかになってきます。黄色や白、グリーンにとって代わり、プリムラ類、ポインセチア、シャコバサボテン、シクラメン、カランコエといった鉢花が真紅に、あるいはピンクに咲き競います。センターでは鉢花などを展示するとともに、それらの育て方についてもご相談できるようになっておりますので、どうぞお気軽におたずね下さい。ご家庭で育てている植物の参考となるかと思いますのでご家族でおいで下さい。

（園芸センター）

## 市長ノート

十月二十九日の臨時市議会を終え、翌三十日午後五時二十分、成田空港離陸というあわただしい日程でメリカ・メキシコ湾にあるガルベストン市と姉妹都市提携満二十周年（来年一月二十八日）を迎えるに当たっての使節として出発した。

数々の積み重ねを経ながら、ついに二十年の年月をたどってきた。被葬住来は、最近の中国ほどではないものの、遂年その深まりを増してきた。

昨年の新潟博には、現ゴゲシャル市長（女性）以下十二人がやって来た。また、市民の方々の往来もその数を着実に増やして下さっている。

両市間には、各々、新潟―ガルベストン委員会が発足して、その実を挙げていることは感謝に堪えない次第。

小山市議会議長の同道を得て、一行三人であるが、前述のごとく昨年会っている人々、今まで来新した人が再会を、想い出を共に懐かしむ交歓風景は格別のものがあった。

ガルベストンは、綿花、硫黄の輸出港として栄えた港湾都市。最近は、若干低迷の状態とはいえ、提携当時、人口六万人余りが、既に八万三千人余りに増加しと、アムステルダム市立美術館のティーメン・バン・グルーテースト現代美術担当館長が、十一月十五日、若杉市長を表敬訪問しました。

グルーテースト館長は「東京や大阪など大都市の美術熱は、ヨーロッパでもよく知られていますが、新潟市も積極的に美術に取り組んでいる印象を受けました。建設中の美術館を見ましたが、とても素晴らしい。新潟で美術展が開ければ、とても名誉です」と述べました。

これに対して、若杉市長は「今春、駐日オランダ大使ともお会いし、なにかご縁があるようで…期待しています」と、にこやかにこたえました。

その後、スライドを使い、展示が可能な作品の一部が紹介されました。後期印象派の画家として有名なゴッホ、抽象絵画の先駆者・モンドリアン、コブラ派のアペル――など、世界一級の作品ばかりです。日本未公開の作品も含まれています。

この展覧会が実現すれば、「ゴッホから現代まで、オランダ美術百年の歩み」を肌で感じることができ、地方美術館のこけら落としとしては画期的なものとなります。日本初の「アムステルダム市立美術館展」となって、広く全国から美術愛好家が訪れることでしょう。

## 開館記念は「オランダの美術展を…」

### グルーテースト館長が若杉市長を表敬訪問

若杉市長と歓談するグルーテースト館長（左）

### ゴッホから現代までモンドリアンやアペルも

来年十月オープンを目指し、れています。

西大畑の法務合同庁舎では、美術館の建設が順調に進めら

「開館記念の特別展に、ぜひ、オランダの現代美術展を」

## ガルベストンを訪れて

### 二十周年を迎えた姉妹都市

姉妹都市、ガルベストンの港

港湾を活かしながら、観光にも力を入れ、半島、島のイメージを一新させようと活気に満ちている様子がじかに伝わってくる。

二十周年記念として、両市個々の行事のほか、今後の経済、文化などの交流についても踏み込んで話し合うことが出来た。同市の関係の方々の熱意は驚く程であった。しかも、ガルベストン市では、全部ボランティア方式で、市民委員会の方々が、自ら民泊を引き受けたり、いろいろの世話を全部やってくれる仕組みになっているという。それは市を代表してではなく、市の繁栄のためには惜しみない努力をして、奉仕をするということなのである。

恐らく、新潟では、いや日本ではちょっと考えられないことであろう。

初めてのこととは言え、四日間の滞在期間中は、実に充実したもので、両市の話し合いを通じ、使命を立派に果たした上で、何度も何度も握手で感謝を込め、再会を約して別れを告げた。

（十一月十三日）

若杉市長

## 今 縫いぐるみ作り

### たけなわ

縫いぐるみ作りに精を出す日和山福祉作業所の皆さん

日和山福祉作業所

ジョッキ、ジョッキと、静かな部屋にハサミの音だけが響きます。十五畳ほどの部屋の壁には、イヌやネコ、ウサギ、ライオンなどのかわいい縫いぐるみがかけられています。

ここは、心身に障害を持つ人たちの施設「日和山福祉作業所」（四ッ屋町一ノ十七歳から五十一歳まで、男性十二人、女性十人の計二十三人が市内一円から通っています。

作業室には十五、六人の人たちが、縫いぐるみ作りに励んでいます。中に詰める布を細かく刻む人と外側を作る人、さらに頭部を受け持つ人、胴体、手足、と分業化されています。

時折手を休めてみんなで雑談、明るい笑い声がわき上がります。

純真な心は作る縫いぐるみにも表われ、月産百五十個ほどの縫いぐるみの売れ行きは好調。団体、会社、学校のバザーなどからまとまった数量の注文をもらい、納品を待っていただくこともあります。

縫いぐるみの材料は、婦人服の縫製やニットの工場から半端な布をもらい、皮だけ市販のフェルトを買っています。ふだんは図書館の本のビニール表紙かけや公園の草取り、墓地の管理・清掃などをやっていますが、これからの冬場は、縫いぐるみ作りと除雪などが主体になります。同作業所の平沢貞盛所長は、「縫いぐるみの購入協力を通じて、一般の方から身障者への深い理解を求めていきたい」と語っています。

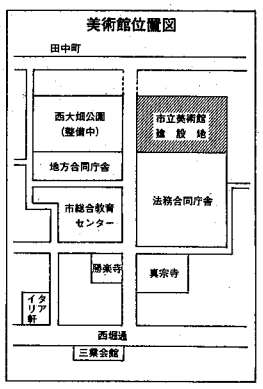
縫いぐるみは一個六～七百円と、手ごろなお値段です。子供さんのクリスマスプレゼントにいかがでしょうか。ご注文は同作業所（☎22―九四八五）へどうぞ。

**白山作業所**

"ゾバがらまくら"
もどうぞ

ご希望の方は「白山作業所」（関屋昭和町三、☎32―〇〇〇三）へどうぞ。

### 美術館位置図




## ワープロ実務講習会

**日時** 12月8日午後1時～5時、9日午前9時～午後4時（2日間）
**会場** 新潟地域職業訓練センター（東山の下小近く、月曜は休み、☎71―2535）
**定員** 20人（先着順）
**受講料** 3,000円
**申し込み** 12月5日までに電話で会場へ

## 新大室内合唱団　指揮　箕輪久夫
## 第3回演奏会

**日時** 12月4日午後6時半開演
**会場** 音楽文化会館
**曲目** インスブルックよさようなら（イザーク）、黒人霊歌「ジェリコの戦い」ほか
**入場料** 500円
**問い合わせ** 新大教育学部（☎62―7044）へ

## クリスマスケーキをつくろう！
## 親子おかしづくり講習会

**日時** 12月16日午前10時～正午
**会場** 石山地区公民館
**内容** クリスマスケーキ、ホットドッグ
**定員** 親子15組（子供は小学4年以上）
**経費** 1組700円（材料費）
**持参品** エプロン、ふきん
**申し込み** 電話で会場（☎86―5631）へ

## 市民憲法講座
## 国民の知る権利とマスコミ

**日時** 12月8日午後1時半～4時
**会場** 中央公民館5階ホール
**講師** 松浦総三（評論家）
**参加費** 300円　※保育室もあります。
**連絡先** 川上（☎24―7171）へ

## 魚の身おろしと料理講習会

**日時** 12月7日午前9時半～午後1時半
**会場** 東地区公民館
**持参品** エプロン、ふきん、タッパー、魚用包丁
**定員** 30人　**材料費** 200円
**申し込み** 12月3日午前9時から電話で県水産振興基金（☎41―0151）へ

## ステンドグラス教室

**日時** 12月16日午前9時半～正午
**会場** 県自然科学館工作室
**対象** 小学生30人（申し込み多数の時は抽選）　**経費** 400円
**申し込み** 12月6日（当日消印有効）までに往復はがきに住所、氏名、年齢、電話番号を明記して会場（〒950 女池字蓮潟東2010―15）へ

## 18cmのデコレーションケーキづくり
## 親子ケーキ作り講習会

**日時** 12月15日午後1時半～3時半
**会場** 東地区公民館
**対象** 親子15組（先着順、子供は小学生）
**材料費** 1,500円（当日持参）
**持参品** エプロン、三角きん、筆記用具
**申し込み** 12月8日までに電話で東地区公民館（☎41―4119）へ

## おせち料理特別講座

**日時** 12月10日～13日午前10時～午後2時半（一日コース、都合のよい日を選択）
**会場** 東北電力グリーンプラザ
**内容** とり雑煮、錦たまご、栗寒天ほか
**会費** 200円（材料費）
**申し込み** 12月4日午前8時30分から電話で会場（☎23―3151）へ（先着各36人）